

2014年（平成26年）6月12日（木曜日）

種まいて爽やかな汗

カンファワープロジェクト 大学生や一般も大勢集まる

大館市松木

大館市釈迦内サンフラワープロジェクトの一環で、一般のボランティア



児童や大学生、一般のボランティアがヒマワリの種まきに汗（大館市松木で）

が参加してのヒマワリの種まき作業がこのほど、同市松木字家下の畑で行われた。児童や家族連れのほか、地域住民や大学生ら約100人が参加し、好天の下で作業に汗を流した。

プロジェクトはヒマワリの栽培を通じた地域活性化に取り組むもので、釈迦内地区を中心に各地での種まきが盛期を迎えている。同所のヒマワ

リ栽培は初めてで、地元住民から約25坪の休耕地を借り受けて実施した。地域や企業が行う行事やイベントに児童生徒の参加を促す市教育委員会の「子どもハローワーク」を通じて、釈迦内小を中心に約50人の児童が参加を申し込んだ。地域住民のほか、プロジェクト

トに協力している秋田銀行大館駅前支店の行員9人、秋田大の学生10人も参加した。
初めにプロジェクトの日景賢悟実行委員長が「けがなく楽しみながら作業を進めてほしい。8月には刈り取りを行い、この場所で焼き肉納涼会を開きたい」などあいさつした。

参加者は畑の西側に並び、3〜4人一組になって作業。指で穴を開けて種を2粒入れ、水をかけて土をかぶせた。「みんなで植えると早いね」と話す児童もいた。

北秋田市出身で秋田大大学院教育学研究科の松橋龍平さん（22）は、地域貢献活動に取り組む学生団体「ARCGループ」の副代表として活動に参加。松橋さんは「小学生

との触れ合いを楽しみながら活動させてもらっている。サンフラワープロジェクトとは活動理念が共通する部分もあり、充実感がある」などと笑顔を見せていた。